

【午 前】

問1	イ	問11	エ	問21	エ	問31	ア	問41	イ
問2	ウ	問12	エ	問22	イ	問32	イ	問42	エ
問3	ア	問13	イ	問23	ア	問33	イ	問43	イ
問4	ウ	問14	ウ	問24	ア	問34	ウ	問44	ウ
問5	エ	問15	イ	問25	エ	問35	イ	問45	ウ
問6	イ	問16	イ	問26	ウ	問36	ウ	問46	ウ
問7	ウ	問17	ア	問27	ア	問37	イ	問47	イ
問8	エ	問18	イ	問28	イ	問38	ア	問48	イ
問9	イ	問19	ア	問29	ウ	問39	ウ	問49	ア
問10	イ	問20	ア	問30	ウ	問40	ウ	問50	エ

【午 後】

問1

設問1

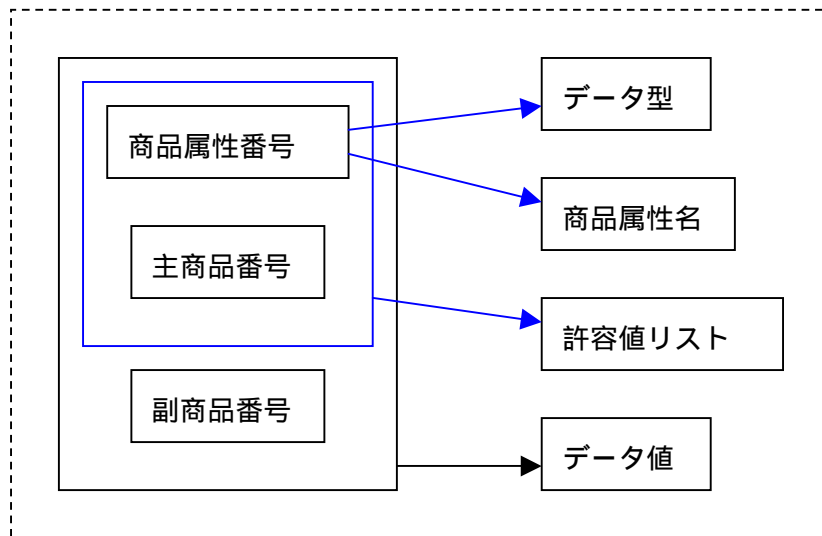
- (1) {顧客番号, 申込番号}{住所, 顧客名, 申込番号}
- (2) 顧客番号が同一のタプルのうち一部のタプルに対して住所, 顧客名を更新するとデータの整合性がとれなくなる
- (3) 購入申込(顧客番号, 申込番号, 日付, 支払方法)
顧客(顧客番号, 住所, 顧客名, 電話番号)

設問2

- (1) 主商品名, 副商品名, 価格, 送料, 数量
- (2) {顧客番号, 申込番号, 明細行番号} 主商品番号 主商品名
- (3) 非キー属性“主商品名”は, 候補キー{顧客番号, 申込番号, 主商品番号, 副商品番号}の一部である主商品番号に従属している

設問 3

(1)



(2) 図 2 の対象はメタデータのみであるが、図 4 はメタデータを定義するメタデータを含む

問 2

設問 1

(1)

- a: 社員番号
- b: SUM(受講ポイント数)
- c: 受講, コース
- d: 受講.コースコード = コース.コースコード
- e: BETWEEN
- f: AND
- g: 社員番号
- h: ON
- i: ORDER BY

(2)[一つ目の空欄]

(社員.担当職務コード1 = 必修コース.担当職務コード OR 社員.担当職務コード2 = 必修コース.担当職務コード)

[二つ目の空欄]

SELECT コースコード

FROM 受講

WHERE 社員番号 = 123456

設問 2

(1)

社員担当職務

社員番号	部門コード	担当職務コード
------	-------	---------

社員

社員番号	氏名	年間受講ポイント数	繰越ポイント数
------	----	-----------	---------

(2)

j: SUM((年間受講ポイント数 + 繰越ポイント数) * 兼務比率)

k: SUM(使用ポイント数 * 兼務比率)

l: 所属, 部門, 社員

m: 社員.社員番号 = 所属.社員番号

AND 所属.部門コード = 部門.部門コード

問 3

設問 1

(1)

従業員

店舗番号	従業員番号	従業員名
------	-------	------

料理

料理番号	料理名	単価
------	-----	----

レシート

店舗番号	領収年月日時分	レシート番号	卓番号	人数	受付従業員番号
------	---------	--------	-----	----	---------

消費税額	請求合計金額	預り金額
------	--------	------

(2)

注文

店舗番号	注文番号
------	------

注文明細

店舗番号	注文番号	受付年月日時分秒	注文区分
------	------	----------	------

卓番号	人数	受付従業員番号	ハンディ端末番号
-----	----	---------	----------

注文料理品目

店舗番号	注文番号	受付年月日時分秒	料理番号	数量
------	------	----------	------	----

設問 2

(1)

取扱料理

店舗番号	料理番号
------	------

(2)

セットメニュー

主料理番号	セット料理番号
-------	---------

設問 3

(1) テーブル名:料理

列名 :料理分類, 標準調理時間

(2)

料理分類順序

料理分類	料理を出す順序
------	---------

問 4

設問 1

(1) 商品:(カ)

受注:(ア)

在庫:(ア)

(2) オンライン中に更新ログによるリカバリを行う場合、バッチ処理の更新ログの分だけ所要時間を短縮できるから

設問 2

(1) 前日に登録した正しい販売先データ及び、本日の誤った販売先により受注処理と出荷処理したデータ

(2) , , ,

設問 3

(1) 需要予測と販売実績月次集計を再実行し、再実行制御テーブルの情報を参照して、未処理データから処理する

(2) g

(3) 必要な時間:更新ログを用いたロールフォワード処理に要する時間

必要な情報: 更新ログの量

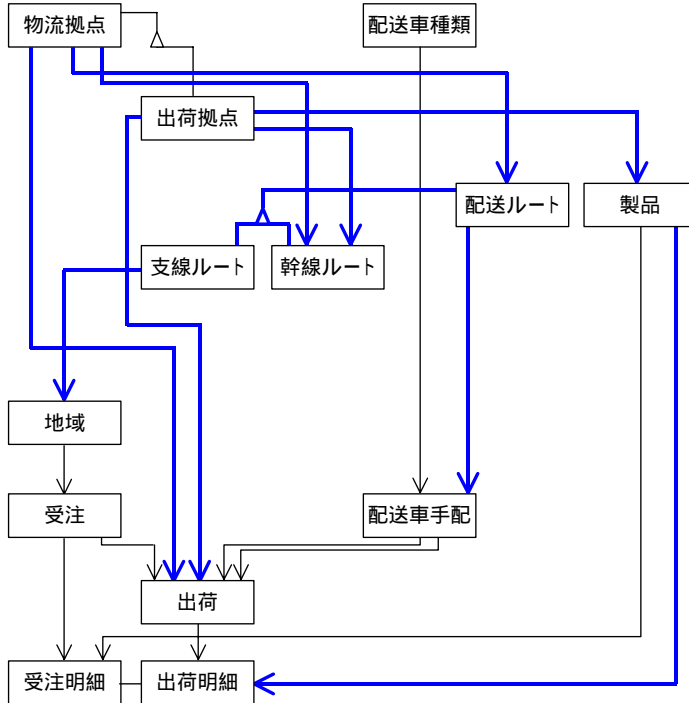
更新ログ一定量当りの処理時間

【午後】

問 1

設問 1

(1)



(2)

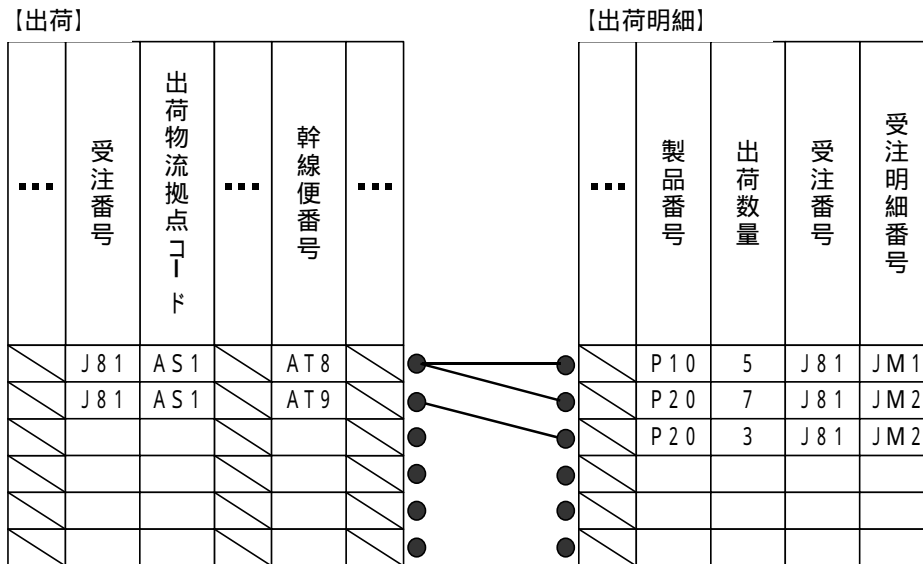
属性	値の設定タイミング					
	出荷予定状態	幹線便車両割付状態	支線便車両割付状態	出荷済状態	積替済状態	納品完了状態
出荷番号						
受注番号						
出荷物流拠点コード						
出荷指示年月日						
幹線便発地物流拠点コード						
幹線便ルート番号						
幹線便番号						
幹線便手配年月日						
積替物流拠点コード						
積替指示年月日						
支線便発地物流拠点コード						
支線便ルート番号						
支線便番号						
支線便手配年月日						
出荷実績年月日						
積替実績年月日						
納品実績年月日						

設問 2

- (1) (b): , (c): , ,
 (ア) {支線便発地物流拠点コード, 支線便ルート番号, 支線便番号, 支線便手配年月日}
 (イ) {幹線便発地物流拠点コード, 幹線便ルート番号, 幹線便番号, 幹線便手配年月日}
- (2) 直送出荷(出荷番号, 直送手配年月日)
- (3) (ウ) 一つの送り先に対する一つの出荷の荷物量の容積が 4t 車の積載可能容積を超える場合
 (エ) 条件(ウ)の出荷以外の出荷で, 物流拠点から支線便で顧客に出荷される場合
 (オ) 条件(ウ)の出荷以外の出荷で, 物流拠点から幹線便で積替拠点に出荷される場合
- (4) (データ) 含まれるすべての出荷が直送出荷になる受注データ
 (原因) 送り先への納品書の引渡しは支線便においてのみ行われるため

設問 3

- (1) 幹線便発地物流拠点コード, 幹線便ルート番号, 幹線便番号, 幹線手配年月日を出荷から出荷明細に移る
 (2)



- (3) (案) A 案
 (理由) 荷揃えスペースの調整業務で利用される指標値は, 出荷明細エンティティを集計することで作成され
 ると考えられる。B 案および C 案では, 複数の幹線便に分割して搭載すると出荷明細エンティティが
 複数作成されることになるため, 指標値が正しく算出されない

問 2

設問 1

(1)

テーブル名	列名	使用区分	分析軸
販売実績	販売実績伝票番号	×	
	販売年月日		T
	販売時刻	×	
	販売店舗コード		S
	販売員従業員番号	×	
	レジ番号	×	
	販売実績金額	×	
販売実績明細	販売実績伝票番号	×	
	販売実績明細番号	×	
	SKUコード		P
	販売実績数量		
	販売価格		

(2) 販売目標(目標番号, 大分類コード, 販売店舗コード, エリアコード, 年度, 月, 販売目標金額)

設問 2

(1)

分析軸 \ 階層	階層 1	階層 2	階層 3	階層 4
商品軸	SKUコード	商品コード	中分類コード	大分類コード
店舗軸	店舗コード	エリアコード		
時間軸(会計)	年月日	月	半期コード	年度
時間軸(販売管理)	年月日	週番号	年	

(2) 前年同週同曜日, 前年同一祝日, 前年対応年月日

(3) 販売実績, SKU 別日別店舗別販売実績

設問 3

(1) 前年度商品と後継商品とを多対多で対応づける交差エンティティに相当するテーブル

(2) 類似商品グループ (柄グループコード, デザイングループコード, 素材グループコード, 類似商品グループコード)

柄グループ (柄コード, 柄グループコード)

デザイングループ (デザインコード, デザイングループコード)

素材グループ (素材コード, 素材グループコード)

設問 4

(1) 商品テーブルに対して商品 M122 の終売年月日を登録し、中分類コード P12 など M122 の値を継承した商品 M125 を追加する

(2)

参照要件	ファクトテーブルの過去データ変更要否	過去データの変更が不要な場合のデータ参照方法
(記入例)	×	テーブルAのコードBを基に、項目Xを参照する。
(a)	×	テーブル”販売実績”の当時大分類コードを基に、販売実績データを参照する。
(b)	×	テーブル”商品軸”の大分類コードを基に、SKUコードを参照し、そのSKUコードを基に販売実績データを参照する
(c)		

(3)

参照要件	サマリテーブルの再集計要否	再集計しない場合のデータ参照結果
(記入例)		大分類Yno販売実績に、商品Zの販売実績が反映されない。
(a)	×	
(b)		大分類B2の販売実績に、大分類B1の分の販売実績が反映されない。
(c)		大分類B3の販売実績に、変更前の中分類P12の販売実績が反映されない。